

C—80 高年令層婦人の衣生活に関する一考察
—特に洋服を中心として—

実践女大家政 飯塚 幸子

1. 60才以上のいわゆる明治生れの婦人達は衣生活をどの様に考え、又どの様に着装しているであろうかを、特に洋服を中心として取り上げ、調査、考察、その実態及び欲する方向を把握し老年期の延長が問題となっている今日、社会生活や、個人生活の設計への一助となる衣服の創作に発展させたいと考えたものである。

2. 洋服の用い方に焦点を合わせて10項目をあげた調査用紙を、女子大生の帰省を通じてほぼ全国的に配布し、該当者が自己記入又不都合の場合のみ代理記入を依頼し、回答を求めそれを資料とし考察を加えた。

3. 明治に生れ大正、昭和と激動の世代を生き抜いたこれ等の婦人達は、衣生活の考え方においても、又その用い方においても時代の影響を大きく受けている。特に洋服においては着装の自主性、積極性が見られない。そして又皆一様に気に入ったものの購入の不便、不満足を大きく感じている。これは老後の生活向上意欲を持続するためにも、生きがいある日々をより長く送るためにも、周囲が研究すべき多くの問題を包含している。